



標津高校 2025年度 部活動報告

陸上競技部

高体連全道大会に出場して

私たち陸上部は、それぞれが目標を持ち、練習を工夫して頑張ってきました。今回、高体連全道大会に3年生4名、1年生1名が出場しました。私は、走幅跳と三段跳に出場しました。走幅跳では理想的な動きができ、セカンドベストを記録しました。

三段跳では腰痛に悩まされて欠場も考えましたが、最後の全道大会ということもあり、少し無理をして出場しました。結果は自己ベストより44cm下がってしまいましたが、とても良い経験をする事ができました。皆さんの応援に感謝します。ありがとうございました。

陸上競技部 部長 佐藤 猛

高体連地区大会に出場して

僕は中学生の頃から陸上の短距離種目を続けていて、今年の高体連地区大会も、100m、200mで出場しました。100mは決勝まで行けず、200mは決勝で全道大会出場権を逃し、とても悔いの残る結果となってしまいました。しかし、その悔しさをバネに、新人大会では必ず決勝に残り、着順だけでなく標準記録を突破し、全道新人大会に出場しても恥じないように、しっかりと自主練習を重ね、体力を落とさずスピードを向上させられるよう、全力を尽くしていきます。そして、来年のインターハイ出場を狙えるように精進します。

陸上競技部 菅井 琉生

2025年度 陸上競技部 大会結果

第78回 北海道高等学校陸上競技選手権大会創根支部予選会

2025年5月22日～24日				= 全道大会進出			
3A 上野 太我	円盤投	20m83	決勝10位	3A 中條 迅	やり投	43m06	決勝4位
3A 加藤 颯輝	円盤投	32m76	決勝2位	2A 菅井 琉生	100m	11"53	予選1組1位
	ハンマー投	48m63	決勝2位		100m	11"49	準決勝2組5位
	やり投	49m75	決勝2位		200m	24"91	予選2組2位
3A 齊藤龍之助	円盤投	21m85	決勝9位		200m	24"56	準決勝2組4位
	ハンマー投	18m36	決勝7位		200m	24"19	決勝7位
	砲丸投	6m24	決勝19位	1A 坂下 庵	走幅跳	4m17	予選2組10位
3A 桜井 颯峯	ハンマー投	30m50	決勝5位	1A 更屋 翔麻	800m	2'23"20	予選4組5位
	砲丸投	7m30	決勝12位	1A 杉本 優奈	100m	15"37	予選1組6位
3A 佐藤 猛	走幅跳	5m74	予選2組3位		走幅跳	3m84	決勝16位
	走幅跳	5m98	決勝6位		走高跳	1m30	決勝4位
	100m	12"40	予選2組2位	1A 千葉 知毅	100m	12"57	予選4組6位
	100m	11"66	準決勝3組5位		走幅跳	5m14	予選1組8位
	三段跳	11m87	決勝3位	リレー 中條・佐藤・上野・菅井	4×100R		決勝8位
3A 下 美咲	砲丸投	7m87	決勝2位	男子フィールド			第3位 41点
	円盤投	22m65	決勝4位				

第78回 北海道高等学校陸上競技対抗選手権大会北海道予選会

2025年6月17日～20日				= 全国大会進出			
3A 加藤 颯輝	ハンマー投	45m37	予選2組4位				
		49m15	決勝5位				
3A 佐藤 猛	走幅跳	5m95	予選1組21位				
	三段跳	11m43	予選2組27位				
3A 下 美咲	砲丸投	8m32	予選2組10位				
	円盤投	27m53	予選2組10位				
3A 中條 迅	やり投	42m27	予選1組17位				
1A 杉本 優奈	走高跳		記録なし				



バドミントン部 3年A組 山谷 快勢



部活を通して多くのことを学ばせて頂きました。先輩に怒られたり、部活に行かなかったりと、沢山迷惑をかけました。ですが、心を入れ替え部活に熱心に取り組むようになったと思います。この三年間で目立って良い成績は残せなかったですが、結果以上に得られたものが多く後悔はそれほどありません。一つあるとするなら、監督を全道に連れて行きたかったという思いだけです。そしてこれまで支えてくれた監督や先生、先輩、後輩には本当に感謝しています。

卓球部 3年A組 三国 琉聖



まずは、応援してくださった先生方、保護者の皆さん、そして後輩たちに感謝の気持ちを伝えたいです。今年の高体連の結果は去年よりも悔しい結果となりとても残念に思います。後輩たちには、これからも各々の目標を超えられるように頑張ってほしいと思います。勝つ喜びも、負ける悔しさも経験し、そのすべてが大きな学びとなりました。最後までやり抜いたことが自分の大きな自信となり、この自信を失わずこれからを過ごしていきたいです。

後期の行事予定 School Event

10 OCT	1日 後期始業式	12 DEC	19日 スポーツ大会
	28日 後期生徒総会		23日 冬季休業前全校集会
11 NOV	7日 1日防災学校	1 JAN	16日 冬季休業明け全校集会
	12～14日 後期中間考査		28～30日 3年学年末考査

標津高等学校 教育振興会 広報誌



Vol. 158 令和7年11月1日発行



2025 7/11(FRI)・12(SAT) みんなで楽しんだ標高祭!



3年A組 若月 桃

学校祭を終えて

準備期間では今年からイベントがクラスごとではなく、縦割りになり3年生を中心として、クラスや生徒会のことややりながら準備期間を頑張ることができました。初めてのことで慣れないことやクラスのことや生徒会のことなど、両立させることが大変だなと感じる機会もありましたが、他学年交流ができた3年生のチームワークを感じることができて、とても良い思い出ができました。また学校祭当日も有志発表や生徒会企画など盛り上がりとても楽しかったです。イベントではたくさん人が来て廊下が渋滞していたり列がとて長くって受付が大変だったけれど、たくさんの方が来てくれて嬉しかったです。3年間で1番楽しい学校祭になりました。

標津高校 体験入学

9/12(金)開催!

令和7年度の中学生対象の体験入学に道内外から47名の中学生が参加してくれました!!

体験入学を終えて 2年A組 加藤 優花

私は、生徒会として案内と学校紹介をしました。体験入学を受け入れるのは初めてだったので緊張しましたが、この日のためにたくさん準備したので標津高校の魅力が伝わってれば嬉しいです。個人的には、中学校のときの担任の先生に成長した姿を見せる事ができたかなと思います。今回の体験入学に参加してくれた中学生の皆さんが来年入学してくれる未来を想像すると、来年はどんな学校になるのかとても楽しみになりました。みんな待ってるよ!



校長先生 からの メッセージ

HEADTEACHER
MESSAGE



地域とともに、夢を育む

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力、ご支援いただきまして誠にありがとうございます。

今年度は外部講師や体験型の授業が、より活発になっています。このような地域の方を招いた授業や体験型授業では、小中での学びの素材との重複はある一方で、高校では各教科での内容が、より専門性が高まることで学びが深まっています。

また、夏休みには、町の助成のもと、生徒会は新潟中越地震と能登半島地震、1年生は東日本大震災の被災地を訪問し、語り部の方や防災担当の方に貴重な経験をお話いただく機会をいただきました。今後、町内の園・小・中学校への出前授業や、1日防災学校などでその研修の成果をお伝えできたらと思っております。本校の大きな柱の一つである地域循環型防災教育を通し、地域の皆様にとって持続可能で、生きた防災行動につながる一助となればと思っております。11月7日(金)は是非来校の上、本校生徒の様子をご覧いただきたいと思ます。

さて、これからの子どもたちには、学校の中だけの固着した人間関係にとどまらず、コミュニケーション能力を身につけてもらうことが大切です。道外生が来てくれたことで、あらためて、本校生徒にとっては「表に出てたくさんの人に出会う経験」が大切だと認識を得ました。しべつマルシェやあきあじまつりの出店、地域ボランティア活動など、本校生徒の地域との関わりが今年度に入って増えております。これらの活動で生徒にどのような力を身につけさせたいか、地域の方たちと目線合わせをしていくことが大切だと考えております。高校は社会に出る直前の学びの場であることを踏まえ、時には厳しく、しかし夢をもって本校生徒と一緒に育てていただければ幸いです。

本校の教育活動については、あらたに公式noteでも、各種教育活動を総括する視点で発信しております。ぜひご覧ください。

北海道標津高等学校長 福井 朋美

標津高校 地域みらい旅

8月5・6・7日開催!

標津町・標津高校の魅力を体験してもらう「地域みらい旅」に 全国各地から集まってくれた10名の中学生が参加してくれました!

私は8月初旬に地域みらい旅に参加しました。道外から来た中学生と3日間を共にし、標津町の魅力を伝える活動をしました。初日はサーモンパークで魚を見たりして楽しみました。夜は先輩たちが作った料理でもてなしました。2日目はポー川でのカヌーや散策、野付半島でのクルーズを通して、北海道ならではの自然を感じてもらえたと思います。特に鹿肉や熊肉を囲んだバーベキューでは、一気に交流が深まり、忘れられない時間になりました。最終日は雨でしたが、別れを惜しみながら、最後まで心がつながっていたなと感じました。

2年A組 島田 蒼太



標津高校 防災研修

本年度も
開催しました!!

7月28日(月)～30日(水) 1年生が宮城県・岩手県の東日本大震災の被災地を訪問しました。

7月29日(火)～8月1日(金) 生徒会役員が初めて北陸を訪問。自然災害について学びました。

01 東北訪問



1年A組
廣木 花月

防災研修では、東日本大震災の地震、津波の被害があった現場を見に行きました。まずは、石巻市にある石巻市震災遺構大川小学校へ行きました。建物を見ると体育館がなく、柱を支える鉄が伸びることなく千切れていました。防災研修の前に話を聞いていましたが、実際現地に行くとき当時の状況がよくわかり心が痛かったです。

次に行った宝来館で津波が来た映像を見ると、すぐにすごい高さの津波が押し寄せていました。人がまだ避難してなく飲まれそうになるのを見て、衝撃がすごかったです。その後、釜石市の祈りのパークに行きました。津波を再現した黒い壁がすごい高さであり恐怖を感じました。

そして、私達の旅行中に津波警報が出て、その後の予定はなくなり空港へ避難し、9時間ほどいました。その日に帰れなくなり、次の日新幹線とバスで帰りました。防災研修で被災するハプニングがあって大変でした。

防災研修全体を通して、津波が来たら戻らずにかく高いところに逃げるということが大切だと思いました。また、同じ被害を出さないために次世代につなぎ、多くの人に伝えようと思いました。



02 北陸訪問



3年A組
島田 乃愛

私たち生徒会は、防災研修として初めて北陸地方に行ってきました。私が特に印象に残っている場所は、雪氷災害について学んだ新潟県長岡市と、能登半島地震の実体験を聞いた石川県中能登町です。

長岡市では、雪氷防災研究センターを訪れ、雪氷災害について学びました。長岡市は降雪量が多く、屋根の雪下ろし中の転落事故による死亡や、車に積もった雪で排気口がふさがれ、一酸化炭素中毒を引き起こすといった被害が発生しているそうです。対策として、屋根の雪下ろしを行う際には命綱を使用すること、また、一酸化炭素中毒を防ぐためには車の周囲の除雪を行うことが重要であると学びました。私たちの住む標津町も降雪が多いので、しっかりと対策を行っていきましょう。

石川県の中能登町では、昨年の1月1日に起こった能登半島地震を実際に経験した方から、当時の状況についてお話を聞きました。その中で特に大変だったこととして、水道は使用できても下水道が使えないため、やむを得ず断水を行い、長期間お風呂に入ることができなかったという体験談をお聞きました。現在は、そうした経験を踏まえ、下水道の耐震化が進められているとのことでした。

今回学んだことを標津町に置き換えて考え、地域で活かせる防災・減災活動に取り組んでいきたいと思ます。この文章を通じて、少しでも地域の皆さまの防災意識が高まれば幸いです。



～メナシ学～
標津の自然を学ぶ!

野付巡検を 終えて



1年生を対象に毎年実施している研修。 野付半島の観察と合わせて清掃活動を行っています。

野付半島に行ってもまず日本最大である砂嘴の先端まで歩きました。歩いている途中にはたくさんの植物や、生き物がいました。特にカニの死骸とヒトデがたくさんありました。海の浅いところにはホタテが何枚もありました。先端まで歩くとガイドさんが野付半島について話してくれました。野付半島は昔もっと陸地があったのですが、地球温暖化・海岸侵食・地盤沈下の影響でどんどん海に沈んでいっていることがわかりました。近年海岸侵食や地盤沈下が進んでおり、100年以内に消滅すると言われているので驚きました。そして、ゴミを拾いながら帰ると外国から来たゴミや、漁師の人が使っていたと思われる道具がたくさん落ちていて残念な気持ちになりました。ゴミを減らすための努力をしないとイケないと思いました。

1年A組 更屋 翔麻

きれいな海を守ろう!

